

## 熊本県鉱工業動向(平成30年(2018年)11月分)

## 概況

	前月比の動き	参 考	
		九州(速報)	全国(速報)
生産	低下	低下	低下
出荷	低下	低下	低下
在庫	低下	上昇	上昇

## 業種別の主な動き

	主な上昇・低下業種(及び主な品目)	参 考	
		九州(速報)	全国(速報)
生産	上昇 はん用・生産用機械工業(※) 金属製品工業(建設用金属製品)	輸送機械工業 (普通乗用車等)	生産用機械工業 (半導体製造装置等)
	低下 電子部品・デバイス工業(集積回路) 化学工業(医薬品)	汎用・生産用・業務用機械工業 (半導体製造装置等)	汎用・業務用機械工業 (コンベヤ等)
出荷	上昇 はん用・生産用機械工業(※) 金属製品工業(建設用金属製品)	輸送機械工業 (普通乗用車等)	生産用機械工業 (半導体製造装置等)
	低下 電子部品・デバイス工業(集積回路) 化学工業(医薬品)	汎用・生産用・業務用機械工業 (半導体製造装置等)	汎用・業務用機械工業 (コンベヤ等)
在庫	上昇 輸送機械工業(※) 金属製品工業(建築用金属製品)	窯業・土石製品工業 (ファインセラミックス(機能材)等)	石油・石炭製品工業 (ジェット燃料油等)
	低下 ※(※) 食料品・たばこ工業(※)	パルプ・紙・紙加工品工業 (情報用紙等)	鉄鋼・非鉄金属工業 (亜鉛めっき鋼板等)

表中の「※」は、統計の秘密保持の立場から、特に内容を秘匿としたものです。

## 総括

## [熊本県]

生産指数は139.3で、前月比▲2.9%となり、3ヶ月連続の低下であった。16業種中7業種が上昇、9業種が低下であった。

出荷指数は130.3で、前月比▲0.8%となり、3ヶ月連続の低下であった。16業種中10業種が上昇、6業種が低下であった。

在庫指数は94.6で、前月比▲9.1%となり、2ヶ月連続の低下であった。15業種中5業種が上昇、10業種が低下であった。

## (参考)

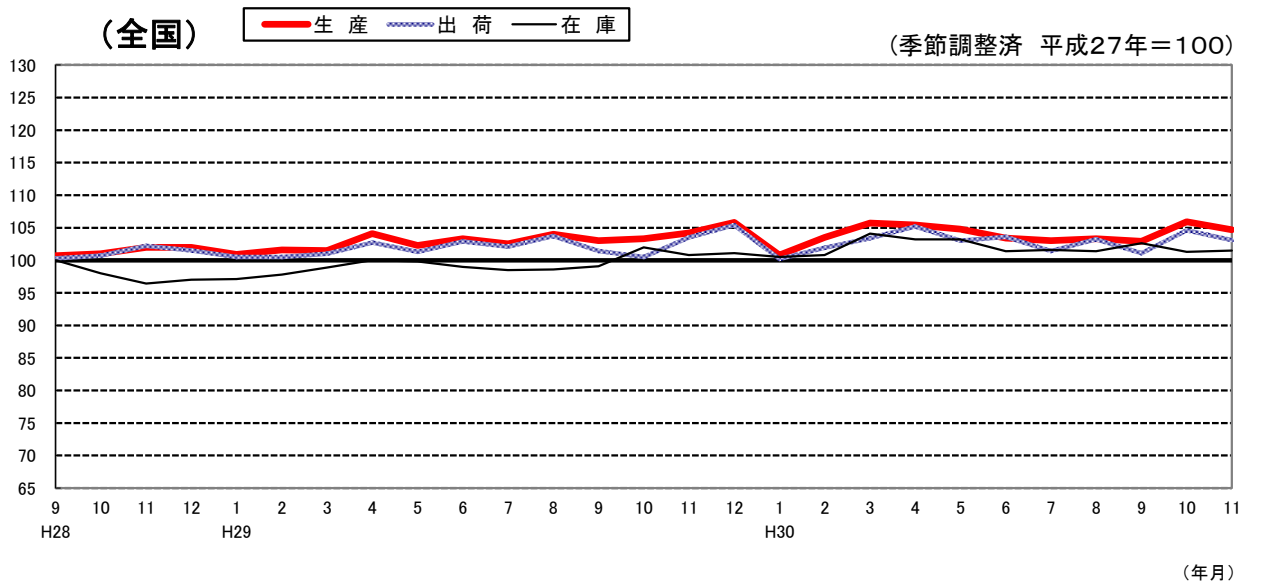
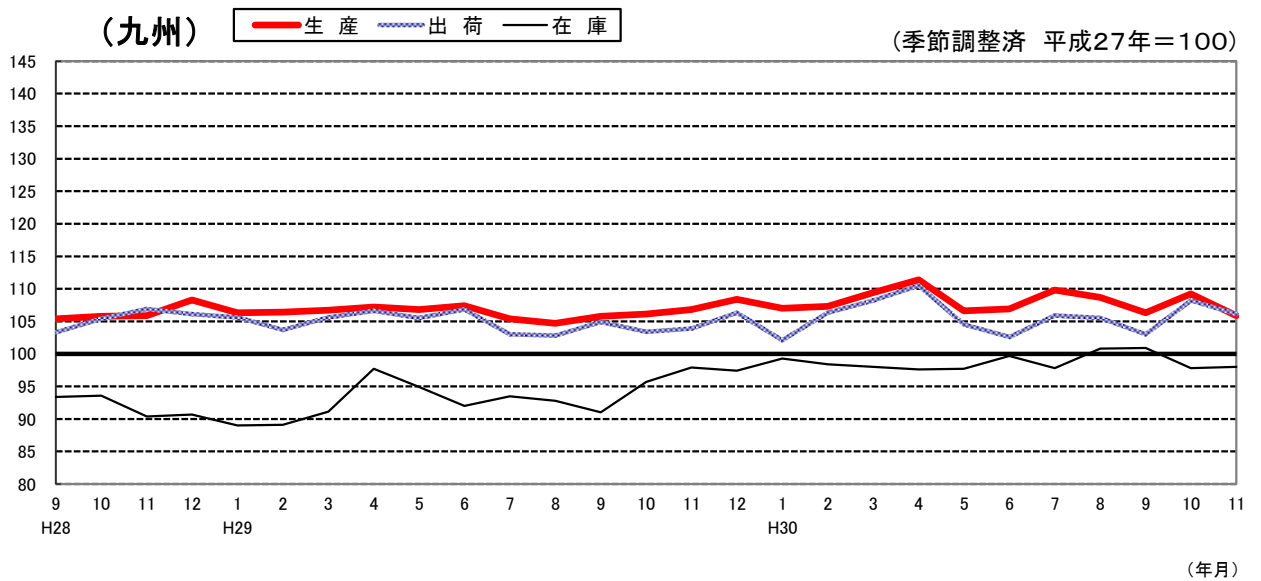
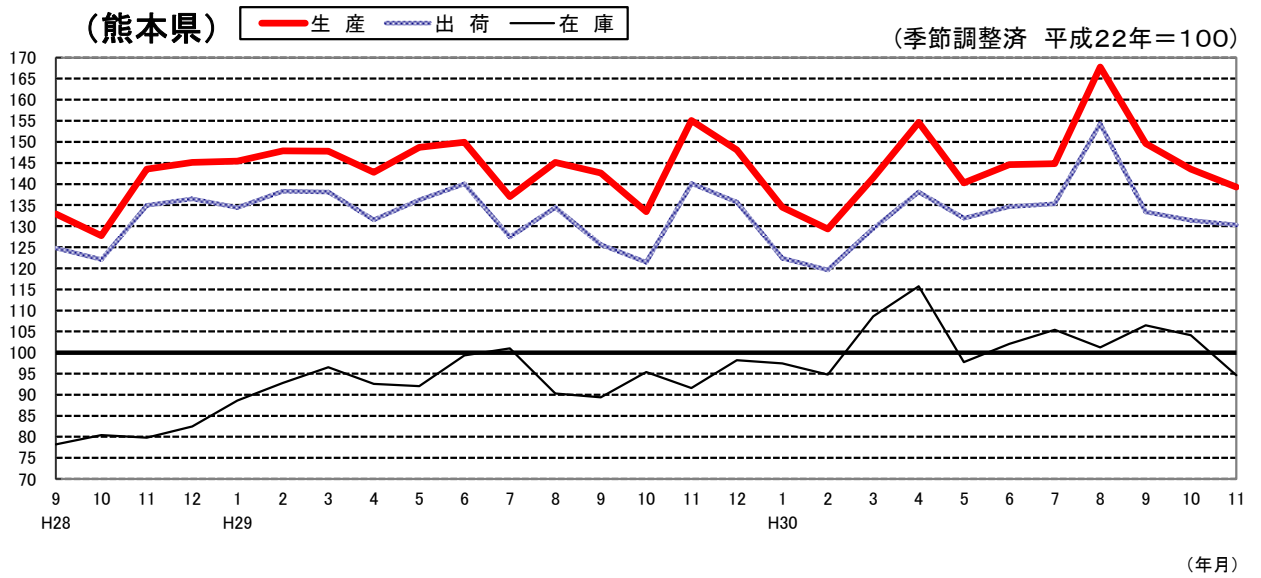
[経済産業省九州経済産業局]「九州地域の鉱工業動向(平成30年11月速報)」より転載

平成30年11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は105.9となり、前月比が▲3.0%と2か月ぶりに低下し、前年同月比は+0.4%と2か月連続の上昇となった。

[経済産業省]「平成30年11月の鉱工業(生産・出荷・在庫)指数の動向(速報)」より転載

今月は生産、出荷、在庫率は低下、在庫は上昇であった。製造工業生産予測調査によると、12月は上昇、1月は低下を予測している。総じてみれば、生産は緩やかに持ち直している。

# 熊本県・九州・全国の鉱工業指数の推移



※ 最終月は速報値です。

1. 概況

－ 生産は3ヶ月連続の低下－

平成30年(2018年)11月の鉱工業指数[速報値]

		季節調整済指数	前月比(%)	原指数	前年同月比(%)
熊本県	生産	139.3	▲ 2.9	147.0	▲ 10.2
	出荷	130.3	▲ 0.8	140.1	▲ 7.0
	在庫	94.6	▲ 9.1	104.9	3.3
九州	生産	105.9	▲ 3.0	110.3	0.4
	出荷	106.1	▲ 1.9	110.7	3.1
	在庫	98.0	0.2	99.5	0.1
全国	生産	104.7	▲ 1.1	108.1	1.4
	出荷	103.1	▲ 1.4	106.0	0.7
	在庫	101.5	0.2	103.6	0.7

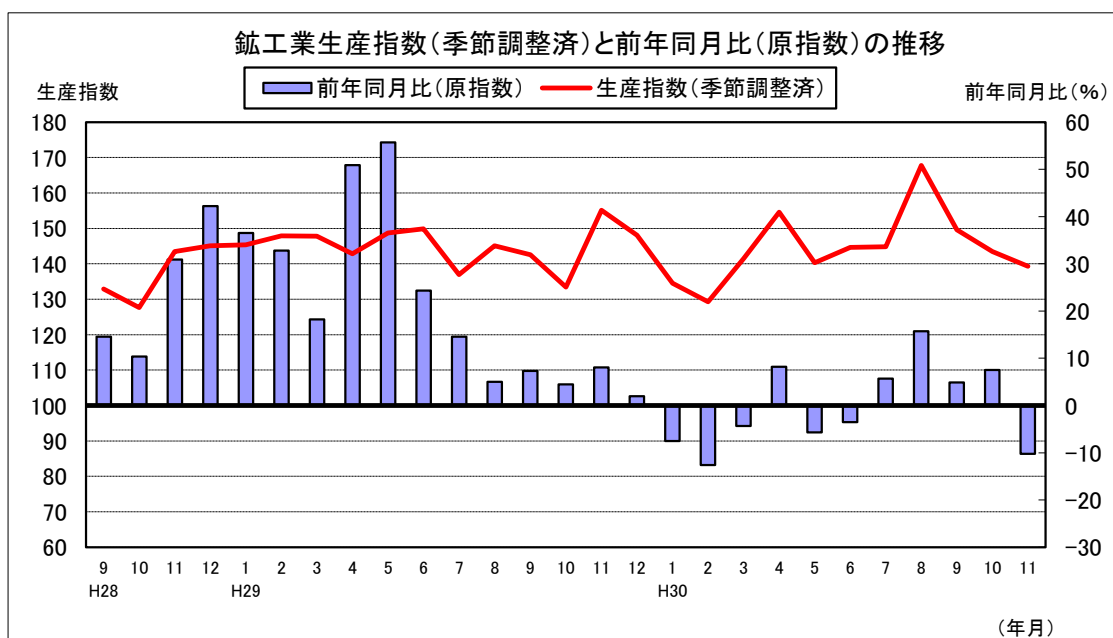
※「前月比」、「前年同月比」は上昇率を百分比(%)で表しています。

※生産・出荷指数の季節調整法はX-12-ARIMA(季節・曜日・祝祭日調整)、在庫指数はX-12-ARIMAの中のX-11デフォルトによります。

【生産】 生産指数は 139.3 で、前月比 ▲2.9%となり、3ヶ月連続の低下であった。16業種中、はん用・生産用機械工業や金属製品工業などの7業種が上昇したが、電子部品・デバイス工業や化学工業などの9業種が低下した。

【出荷】 出荷指数は 130.3 で、前月比 ▲0.8%となり、3ヶ月連続の低下であった。16業種中、はん用・生産用機械工業や金属製品工業などの10業種が上昇したものの、電子部品・デバイス工業や化学工業などの6業種が低下した。

【在庫】 在庫指数は 94.6 で、前月比 ▲9.1%となり、2ヶ月連続の低下であった。15業種中、輸送機械工業や金属製品工業などの5業種が上昇したが、食料品・たばこ工業などの10業種が低下した。



## 2. 業種別動向

### 【 生産 】

	主な上昇・低下業種	ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	はん用・生産用機械工業	1325.0	24.2	▲ 12.6	※
	金属製品工業	426.2	7.0	8.7	建設用金属製品
	電気機械工業	804.7	3.2	▲ 21.9	※
低 下	電子部品・デバイス工業	1823.9	▲ 11.2	▲ 11.4	集積回路
	化学工業	868.7	▲ 19.0	▲ 22.1	医薬品
	※	※	※	※	※

### 【 出荷 】

	主な上昇・低下業種	ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	はん用・生産用機械工業	1108.0	34.7	1.1	※
	金属製品工業	415.3	4.5	7.7	建設用金属製品
	窯業・土石製品工業	249.3	3.1	7.3	※
低 下	電子部品・デバイス工業	1737.9	▲ 9.5	▲ 10.3	集積回路
	化学工業	846.8	▲ 17.5	▲ 22.3	医薬品
	プラスチック製品工業	425.7	▲ 7.8	4.5	プラスチックフィルム

### 【 在庫 】

	主な上昇・低下業種	ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	輸送機械工業	386.8	10.5	28.3	※
	金属製品工業	672.4	9.6	3.7	建築用金属製品
	木材・木製品工業	310.4	3.3	6.3	一般製材
低 下	※	※	※	※	※
	食料品・たばこ工業	1733.1	▲ 9.7	44.5	※
	化学工業	1224.1	▲ 9.8	▲ 6.3	※

表中の「※」は、統計の秘密保持の立場から、特に内容を秘匿としたものです。

### 3. 特殊分類別動向（財別の動き）

財 別	項 目	季節調整済指数	前月比(%)	原 指 数	前年同月比(%)
最終需要財	生 産	106.5	▲ 4.7	110.7	▲ 12.1
	出 荷	107.1	▲ 3.0	112.8	▲ 9.0
	在 庫	92.8	▲ 7.6	101.0	▲ 5.7
生 産 財	生 産	176.1	▲ 8.9	189.5	▲ 8.9
	出 荷	154.8	▲ 5.0	170.2	▲ 5.4
	在 庫	97.0	▲ 10.3	109.1	14.5

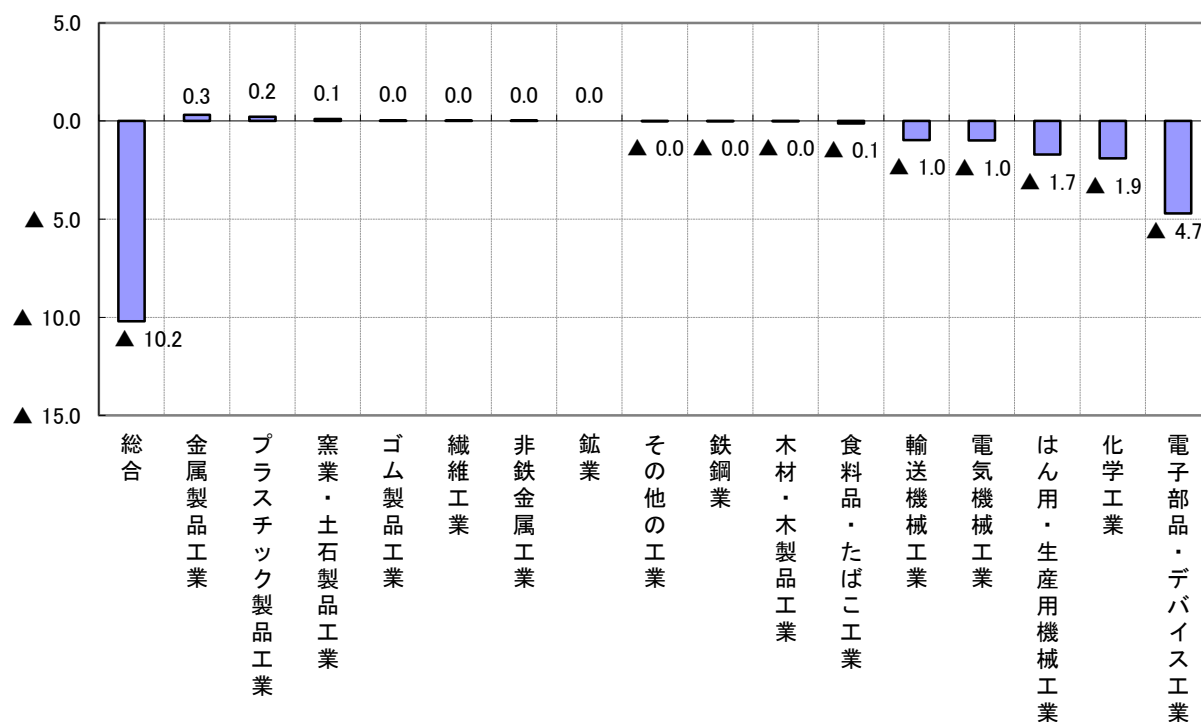
### 4. 特定品目の動向（集積回路の動き）

類 別	項 目	季節調整済指数	前月比(%)	原 指 数	前年同月比(%)
金額指数	生 産	371.5	▲ 13.0	421.2	▲ 12.5
	出 荷	303.0	▲ 10.9	349.4	▲ 11.3
	在 庫	1.8	▲ 28.0	1.8	80.0

類 別	項 目	季節調整済指数	前月比(%)	原 指 数	前年同月比(%)
数量指数	生 産	568.2	▲ 9.0	640.5	▲ 14.4
	出 荷	469.2	▲ 9.9	535.2	▲ 13.0
	在 庫	51.0	▲ 11.1	53.0	8.4

※ 総合指数や業種別指数には金額指数を採用しています。

### 5. 業種別寄与度（原指数・生産前年同月比）



※ 寄与度は、各業種の変化が、総合指数をどれだけ変化させたかを表します。ウェイトが反映されますので、業種によっては上昇幅が大きくても、ウェイトが非常に小さければ全体に対する貢献度は低くなる場合があります。また、ほとんどの業種が低下してもウェイトの大きい業種が上昇すれば、全体ではプラスになることがあります。